

埼玉大学・岐阜大学共同実施 「第33回理科モデル授業オンライン研修会」ご案内

優れた理科授業づくりに役立つ新たな研修手段として

- (1) どこからでも参加可能なオンラインの研修会
- (2) 土曜日夕方に出張ではなく自己研鑽として
- (3) 理科モデル授業の参観と協議
- (4) 優れた理科授業について互いに学び合える機会
- (5) 地域を越えた中核的理科教員のつながりの形成
- (6) 科学的リテラシー指標 (SLI) 測定ツールの提供
- (7) 記録動画と資料がウェブ掲載され再利用が可能



令和7年6月21日(土) 15時～17時40分

会 場 埼玉大学教育学部（授業をZoomでLive配信し、協議を行います）

授業者 中込泰規氏（東京学芸大学附属竹早中学校教諭）

内 容 中学校第3学年「化学変化とイオン：ホタテや変えるから考える化学電池の歴史」

研修会の基本的な流れ

- ①指導案・資料等を配信
 - ②授業者が本時までの展開を授業前に説明
 - ③1単位時間の理科授業を大学生、現職教員を児童生徒役として対面で実施、休憩
 - ④授業後に授業者が実際の児童生徒の様子も含めて本時の指導法や教材、普段の工夫等を説明
 - ⑤グループ協議前に確認すべき参加者の疑問等に授業者から回答
 - ⑥グループ協議（年代別構成）
 - ⑦協議結果（質問、意見、感想等）の発表
 - ⑧授業者から質問等に対する補足説明
 - ⑨総括的コメント（埼玉大学教授 小倉康、岐阜大学准教授 中村琢）
- ◎毎回GoogleFormで簡易な参加者アンケートを実施します。研修会のモデル授業の動画記録と授業後協議の概要をウェブで公開します。下記サイトでこれまでの記録を参照できます。
- ◎メーリングリストにご登録の方には、研修会の概ね7日前にZoomへの接続情報をお知らせします。未登録の方は、以下のQRコードかURLで開くサイトから随時メーリングリスト登録できます。未登録であっても、知り合いの方から紹介されたZoom接続情報を使って参加いただけます。

詳細情報 参加方法



研究題目「中核的理科教員を活用した理科授業力向上オンライン研修プログラムの開発」
令和3～6年度科学研究費補助金基盤研究(研究代表者：小倉康)終了後に継続実施する研究活動です。
◎オンライン研修会は、学校で理科を教える教員および教員志望の学生はどなたでも参加できます。
◎登録後も参加は任意です。都合の悪い日の研修会是不参加で構いません。参加費は一切無料です。
◎毎回無記名の参加者アンケートを実施しますが、メーリングリストで接続情報をお届けするためのメールアドレス以外に、個人情報収集することはありません。

参加登録サイト http://kg.cst.saitama-u.ac.jp/ctrl/page?path=block_b/03_kenkyukai/00_contents00